



頭も財布もイタ〜い、 アメリカ幼児教育の話

あけましておめでとうございます！——と、新年早々テンション高くはじめてみましたが、実は私がこれを書いているのはまだ2015年、12月の半ばです。そして現在、私の家族には“子供の学校”問題がのしかかっています。今回はこれについて書いてみようと思います。

我が家には5歳半の娘と2歳半の双子の息子がいます。還暦を迎えんとする私との年齢差からすると孫のようなものですが…

娘の方は、住んでいる地域の学校に4歳の時から在籍しています。公立なので学費は無料で問題なし。問題は双子の方なのです。

その問題を具体的にお話する前に、まずはアメリカの教育システムについて簡単に説明します。州によって異なりますが、義務教育年はキンダーガーデン（幼稚園）から12年生（高校3年生）まで。総合して「K-12（ケイ・トエルブ）」と呼ばれます。キンダーガーデンは小学校に併設されている場合が多く、公立の場合には学費は無料です。

問題は、キンダーガーデンの前です。アメリカでは、キンダーガーデンより前の幼児教育施設はざっくり分けると、「デイケア」と「プレスクール」になります。デイケアは日本の保育園と似ていて、母親の産休が明けた生後3カ月頃から預けることができます。一方プレスクールは、名前の通り学校教育前の施設で、概ね2歳頃から通えます。

この状況のどこが問題か？ いずれの施設もほとんどが私立なのです。日本では、幼稚園や保育園（こども園？）は私立もありますが公立もたくさんあります。税金で運営され

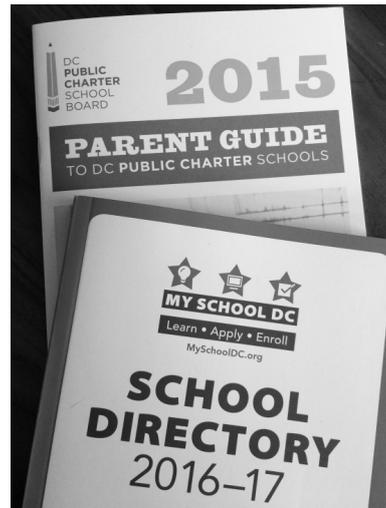


る公立の保育園の料金は大変リーズナブルです。一方、アメリカでは多くが私立となり、基本的に学費は全額自己負担です。

ワシントンDCの場合、公立の学校で一番早期にこどもを受け入れるのはPK-3（3歳が通える保育園）ですが、需要に比べて数が少なく、子供を通わせるためには抽選に当たらなければなりません。お隣のモンゴメリー郡（メリーランド州）では状況はさらに深刻で、キンダーガーデン以前の公立校は一つもありません。

そこで皆、幼児教育には学費を払うのが常識となっているのですが…これが極めて高いのです。安い学校で一人年間1万ドル。2万ドル台の学校も普通です。また、アメリカで「子供を学校に1日預ける」というと、通常は朝9時から3時頃までです。その前や後の時間は、ビフォーケア、アフターケア料金を払わなければなりません。そして我が家の場合、双子なので、何もかも費用は“X2”となります。

我が家の双子は現在、週3回、午前中だけ



のプレスクールに通っています。…高い…。
というわけで、来年の3歳時に双子をどこに通わせるか今検討中で、これが頭の痛い問題なのです。

つい先日、3歳から通える公立PK-3の抽選に応募するため、ワシントンDCが主催する教育フェスティバルに妻に行ってもらいました。抽選に当たれば、来年から学費は無料になります。この原稿記載時点では、まだ結果は出ておりませんが、応募者が相当いるので基本的に当たる確率は高くありません。

平行して、私立学校の目星をつけています。自宅と長女の学校を中心に通える範囲の学校を調べ、さらにおおよその学費と教育メソッドも調べて行けそうな候補校を決めました。

私立学校ばかりの状況はプラスの面もあります。教育メソッドが日本よりかなりバラエティに富んでいるのです。カソリックやユダヤ教などの宗教系の学校、モンテッソーリ式やスタイナー式などの教育メソッドにこだわった学校、その他、自然教育系、早期教育系、外国語イマージョン系などなど、色々な学校があります。

子供が学校に行けるようにするには、まず、それらの学校に電話をかけて学校見学の予約をとります。多くの学校は予約を取らな

ければ学校見学ができませんし、学校見学を経なければ入学できません。見学終了後に入学させたいと考えると、その学校に学費の一部をデポジット（着手金）として払います。

いやあ、本当にこういうのは手間がかかって面倒くさいです。とはいっても私が登場するのはほとんど最終決定のあたりだけで、妻がほとんどすべての作業をしてくれています。感謝、感謝！ 親としては、できるだけ自宅に近く、できるだけ良い教育内容で、しかもできるだけ安い学費の学校に通わせたいです。しかも、決定の効果は“通常X2”で、我が家に及ぼすインパクトは強烈です。

さて、果たしてこの「知財ぷりずむ」の記事を皆さんにお読みいただける頃には、双子の新しい学校が決まっているのでしょうか？
乞Wish us luck!

筆者紹介

宮川良夫（みやがわ よしお）

United GIPs代表、弁理士・米国パテントエージェント
1956年 京都生まれ。1978年 同志社大学工学部卒業。
1986年 弁理士登録、1997年 米国パテントエージェント登録。新樹グローバル・アイビー特許業務法人を初めとして、世界7カ国（地域）にて8箇所の特許事務所設立、経営に携わる。1995年以来、ワシントンDCに滞在し、現職場はUnited IP Counselors, LLC。趣味は、Rock Creek Parkを有効利用した犬の散歩と子（孫？）育て。好きな言葉は「天地不仁」。